令和８年度 第２回子ども部会 議事録

日時 ： 令和８年10月30日(金)10:30～12:00
場所 ： 奄美市役所 ６階 中会議室
参加者 ： 28名

---

1. 事務局より

2. 奄美市福祉政策課 安田氏より 導入説明
・「現場の実践」からひも解く私たちの視点 ～日常のかかわりの言語化～
⇒「療育＝特別な訓練」という固定観念にとらわれず、各事業所の多様なアプローチや日常の配慮を客観的に見つめ直し言葉にすることで、地域全体で共通のイメージや支援の土台を構築していきたい。
日常の関わりを語らいながら、子どもを支援する中で自事業所や支援者自身が何を大切にしているのか言語化することを目的にグループワークを進めていく。

3. グループワーク「日常の関わりの言語化」
・ 各グループにて実施。

4. 全体共有・まとめ
・ **グループ発表（1グループのみ）**
⇒ 就学支援に向けた年中・年長期のご家族へのアプローチや、支援者・行政と家族との関わり方、役割分担についてリアルな悩みや工夫について語り合うことができた。

・ **安田氏によるまとめ**

⇒ これまで感覚や経験で行ってきた支援の意図や工夫を言葉にすることで、自分たちの信念や価値観、アプローチの軸が可視化される。

⇒ 多職種や様々な立場からの視点が入れば入るほど、より多様で柔軟な療育・アプローチにつながる。

⇒ 最終的には「療育」という特定の言葉を使わずとも、教育・保育・地域のあらゆる場面で自然に包括的なアプローチができる仕組みづくりに向け、地域として取り組んでいけたらよい。

5.「医療的ケア児等支援ワーキンググループについて」

・ **のぞみ園大海氏より 提案の趣旨**

⇒ これまで相談支援部会内の「子どもサポートチーム」にて年１回程度情報共有を行ってきたが、就学に向けた教育・福祉・医療の具体的な連携や役割分担等について切実な相談が増加している。

⇒ 個別のケース解決にとどまらず、レスパイトや地域課題も含めて継続協議・連携体制を構築するため、子ども部会内に「医療的ケア児等支援ワーキンググループ（仮称）」を新設することを提案。

・ **部会での承認および今後の協力依頼**

⇒ 参加者からの拍手多数により「医療的ケア児等支援ワーキンググループ（仮称）」の部会内新設が正式に承認された。

⇒ ワーキンググループにて協議した事項については子ども部会にて周知していく。

⇒ 今年度中に顔合わせを行い、来年度からの本格運用に向けて関係機関等への参加呼びかけを行うため、ご協力をお願いします。




2


1


3


4


5




「現場の実践」からひも解く私たちの視点
～日常の関わりの言語化～




「医療×教育」→「療育」が「ニューロダイバーシティ」へ
「療育」が指す範囲は、子どもの機能から、家族→暮らし→社会へ



